

平成27年度事業報告
(自 平成27年4月1日 ~ 至 平成28年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

□ はじめに - MOA美術館改修工事について

地域に開かれた「新しい公共性」の財団を目指し、竣工から34年を経過したMOA美術館の改修工事を行うべく、専門部会を含む100回以上の会合で検討を重ね、設計・施工内容を決定、平成28年3月7日より休館、3月11日より着工の運びとなった。工期は約11ヶ月間の予定である。

箱根美術館については、通常通り、通年の開館運営を行った。

I. 美術館運営事業

1. 企画展の開催

MOA美術館を年間295日、箱根美術館を年間315日開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品をテーマに沿って展示すると共に、他館との協力のもと優れた美術品を一堂に集めた特別展・企画展・平常展を開催した。

(1) MOA美術館（総入館者数 251,963名）

①特別展

○平成27年7月24日～9月9日（期間入館者数 45,149名）

特別展 ふしぎな万華鏡ワールド

出陳件数 17件

世界最大の万華鏡フェスティバルにおいて、日本人としてはじめて2年連続グランプリを獲得した依田満・百合子の作品を展示した。展示室全体に万華鏡の世界が広がる作品や体験型の大きな万華鏡等、夏休みの特別展としてご家族でお楽しみいただいた。

○平成27年9月4日～10月13日（期間入館者数 28,477名）

特別展 平松礼二・森口邦彦展

出陳件数 21件

平松礼二は、日本画の伝統を意識しながら、箔、墨など多彩な技法を用いた装飾的な画面を創り出し、海外でも高い評価を得る。森口邦彦は、友禅の伝統をもとに、幾何学文様など斬新な意匠の作品に取り組み、平成19年重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された。本展では、現代の日本美術を代表する二人の優品を展観した。

○平成27年10月16日～11月17日（期間入館者数 20,673名）

特別展 日本工芸会東日本支部・東海支部選抜展 伝統工芸の現在性

出陳件数 122件

2015年の春に開催された日本工芸会東日本支部及び東海支部の支部展に出品された作品の中から選りすぐった約100点を展観し、現代の日本工芸を概観した。

○平成28年1月1日～1月26日（期間入館者数 12,626名）

新春企画展 日本の人形

出陳件数 56件

日本人形のコレクションとして質量ともに充実した内容を誇る浅原コレクションから江戸時代・近代の人形約20点と、2015年春に開催された「日本工芸会正会員による伝統工芸創作人形展」の出品作から厳選した作品30点を展観した。江戸時代から現代に至る50点の作品を通して、愛らしく心温まる日本人形の魅力を発信した。

○平成28年1月29日～3月6日（期間入館者数 48,075名）

大名品展「紅白梅図屏風」と「色絵藤花文茶壺」

出陳件数 国宝3件、重要文化財32件、重要美術品6件を含む136件

平成28年3月に迎えるリニューアル休館前、最後の展覧会となる本展は、「大名品展」として尾形光琳「紅白梅図屏風」、野々村仁清「色絵藤花文茶壺」の二大国宝に加えコレクションの各ジャンルより厳選した名品をかつてない規模と内容で紹介した。

②所蔵企画展

○平成27年3月6日～4月15日（期間入館者数 28,239名）

所蔵企画展 コレクションに見る桜の美術

出陳件数 重要文化財1件、重要美術品1件を含む28件

○平成27年4月17日～5月13日（期間入館者数 17,150名）

所蔵企画展 近代風景版画の巨匠 吉田博

出陳件数 71件

○平成27年5月15日～6月17日（期間入館者数 22,539名）

所蔵企画展 又兵衛 山中常盤物語絵巻

出陳件数 重要文化財2件を含む11件

○平成27年6月19日～7月22日（期間入館者数 16,338名）

所蔵企画展 浮世絵の華 肉筆浮世絵 一師宣・春章・歌麿・北斎一

出陳件数 重要文化財3件を含む59件

○平成27年11月20日～12月24日（期間入館者数 34,852名）

所蔵企画展 光悦・宗達から抱一まで

出陳件数 重要文化財1件、重要美術品1件を含む56件

②平常展

4月展観 ○平成27年4月1日～4月30日（総入館者数 17,732名）

国宝2件、重要文化財8件、重要美術品13件を含む73件からなる平常展を開催した。

5月展観 ○平成27年5月1日～5月31日（総入館者数 18,892名）

国宝1件、重要文化財9件、重要美術品7件を含む67件からなる平常展を開催した。

6月展観 ○平成27年6月1日～6月30日（総入館者数 18,239名）
国宝1件、重要文化財4件、重要美術品3件を含む25件からなる平常展を開催した。

7月展観 ○平成27年7月1日～7月31日（総入館者数 15,369名）
国宝1件、重要文化財4件、重要美術品3件を含む32件からなる平常展を開催した。

8月展観 ○平成27年8月1日～8月31日（総入館者数 34,056名）
国宝1件、重要文化財3件、重要美術品1件を含む84件からなる平常展を開催した。

9月展観 ○平成27年9月1日～9月30日（総入館者数 19,531名）
国宝1件、重要文化財5件、重要美術品5件を含む112件からなる平常展を開催した。

10月展観 ○平成27年10月1日～10月31日（総入館者数 20,165名）
国宝1件、重要美術品1件を含む23件からなる平常展を開催した。

11月展観 ○平成27年11月1日～11月30日（総入館者数 26,142名）
国宝1件、重要美術品1件を含む23件からなる平常展を開催した。

12月展観 ○平成27年12月1日～12月24日（総入館者数 20,804名）
国宝1件、重要文化財1件、重要美術品1件を含む103件からなる平常展を開催した。

1月展観 ○平成28年1月1日～1月31日（総入館者数 16,770名）
国宝1件、重要文化財11件、重要美術品7件を含む90件からなる平常展を開催した。

(2) 箱根美術館（総入館者数118,074名）

27年度は箱根山の火山活動の活発化により、噴火警戒レベル3に引き上げられた影響から入館者が25%の減少が見られた。

① 常設展示

○ 平成27年4月1日～平成28年3月31日

重要文化財1件を含む94件からなる、縄文から江戸時代にわたる日本古陶磁を中心とした常設展示を開催したが、噴火警戒レベルが3に引き上げられたため、6月12日から12月17日の間、重文「天冠をつけた男子」をはじめ重要作品を撤収しMOA美術館に移動させた。

○ 別館においては、第1展示室にてMOA岡田茂吉賞受賞作家の作品10点を展示した。また年間を通して、創立者岡田茂吉が提唱した事業を、解説及び写真パネル等により紹介した。

② 小企画展

○ 平成27年5月18日～平成28年3月31日

桃山時代の茶陶を中心に38件からなる企画展「茶の湯の道具展」を開催した。

2. 賛助会員（友の会）の募集

(1) 会員数 10,855名

3. その他

(1) 季刊誌の発行

①財団活動を広く知らせるための「MOA美術館 美の友」誌を、4月・7月・10月・1月の4回発行し、MOA美術館来館者と友の会会員に配布した。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

①根津美術館で開催された尾形光琳300年忌特別展「燕子花と紅白梅 光琳デザインの秘密」への国宝「紅白梅図屏風」尾形光琳筆をはじめ別紙の資料1のとおり作品の貸出しを行った。

II. 表彰・コンクール事業

1. MOA美術館児童作品展

美を通して心の教育、「美育」を進めていくべく、家庭、地域、学校と連携し、日々取り組んでいる創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間」形成を目的として第27回MOA美術館全国児童作品展を実施した。

(1) 選考方法

- ① 地方展：実行委員会による地方展が国内384会場、海外30会場で開催され、応募作品452,759点から各会場が行う審査会において最優秀作品を決定した。
- ② 全国展：地方展で選ばれた各会場最優秀作品をMOA美術館に集め、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等で構成される全国展審査委員会において、全国展入賞入選作品300点を選考し、文部科学大臣賞などの各賞を決定した。

(2) 賞の種類と点数

① (個人の部)

賞名	絵画	書写
(a) 文部科学大臣奨励賞	6点	6点
(b) 外務大臣賞	3点	—
(c) 厚生労働大臣賞	1点	1点
(d) 農林水産大臣賞	1点	1点
(e) 日本PTA全国協議会会長賞	1点	1点
(f) 全国子ども会連合会会長賞	1点	1点
(g) ボーイスカウト日本連盟理事長賞	1点	1点
(h) 審査員賞	1点	1点
(i) 金賞	5点	3点
(j) 銀賞	20点	5点
(k) 銅賞	30点	10点

② (団体の部)

(a) 文部科学大臣奨励賞学校奨励賞 6校 (8,953校中)

平成16年より、学校・地域・家庭ぐるみの豊かな情操教育の充実に寄与し、優秀な作品を多く輩出している小学校に対して、文部科学省より文部科学大臣奨励賞学校奨励賞を以下の6校に下付。

東京都 杉並区立 桃井第一小学校
愛知県 岩倉市立 曾野小学校
大阪府 守口市立 東小学校
奈良県 桜井市立 桜井西小学校
岡山県 倉敷市立 旭丘小学校
広島県 府中市立 旭小学校

(b) 厚生労働大臣賞 2 児童作品展実行委員会

児童作品展を中心に、地域の医療機関での作品展示、ボランティア協力、地域のコミュニティー施設等での日本文化の実践等を通じて、子どもたちの健全なる育成に寄与する活動をしている実行委員会に対して、厚生労働省より、厚生労働大臣賞を以下 2 児童作品展実行委員会に下付

青森県十和田児童作品展実行委員会
神奈川県厚木児童作品展実行委員会

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

- ① 表 彰：表彰式を平成 28 年 1 月 31 日（日）に、外務省大臣官房審議官 水嶋 光一氏、農林水産省生産局長 今城 健晴氏 他の来賓を迎え、館内能楽堂に於いて開催した。
- ② 展覧会：平成 28 年 1 月 1 日～2 月 17 日 於：円形ホール
- ③ 後 援：文部科学省、外務省、厚生労働省、農林水産省、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本 P T A 全国協議会、公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、全国新聞社事業協議会、公益財団法人海外日系人協会、全国連合小学校長会
- ④ 図 録：全国展の入賞作品、感想文、歴代受賞者の歩みをおさめた「第 27 回 M O A 美術館全国児童作品展」の図録を作成し、関係者に配布した。

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、美術館開館日に、M O A 美術館の茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行うとともに、当館及び外部における茶会などを行った。

(1) 茶会

① 第 30 回光琳乾山忌茶会（参会者数 725 名）

創立者の構想に基づき造営した京都広沢池畔・平安郷において、尾形光琳、尾形乾山の命日に因み、顕彰する茶会を開催した。

期 日：平成 27 年 6 月 2 日 379 名 ・ 3 日 349 名

会 場：京都・平安郷 嵯峨広沢池畔

席担当：濃茶席 根津美術館

薄茶席 金沢美術青年会

薄茶席 MOA美術館

② 初釜

(a) 箱根 (参会者数 80 名)

期日：平成 28 年 1 月 22 日

会場：箱根神仙郷・山月庵

(b) 熱海 (参会者数 105 名)

期日：平成 28 年 1 月 25 日

会場：MOA美術館・一白庵

(2) 第 31 回夏休み能楽サークル (参加者 227 名)

① 期日：平成 27 年 8 月 15 日 (小中学生 39 名、高大生 1 名、保護者 187 名)

② 内容：能楽器体験 (小中学生対象)

能楽講座 (保護者対象)

能楽観賞 能：「舍利」宝生流 小倉健太郎 他

狂言：「附子」和泉流 野村 萬斎 他

(3) 体験プログラム (お茶、お花など)

スクールプログラムの一環として、学生、教員を中心に茶の湯、いけばな等の体験プログラムを実施した。(V 2. (3)を参照)

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会や獅子舞、野外における薪能、フロアコンサート等の公演を行った。

(1) 定期演能会 (入場者総数 467 名)

① 期日 平成 27 年 5 月 23 日 (入場者数 214 名)

演目 能 「船弁慶」金剛流 廣田幸稔 他

狂言 「仏師」和泉流 野村又三郎 他

② 期日 平成 27 年 10 月 24 日 (入場者数 253 名)

演目 能 「天鼓」宝生流 辰巳満次郎 他

狂言 「苞山伏」和泉流 野村 万蔵 他

(2) 第 31 回MOA美術館薪能 (47広場特設会場)

① 期日 平成 27 年 8 月 1 日 (入場者 1,287 名)

演目 能 「清経」宝生流 金森 秀祥 他

狂言 「千鳥」大蔵流 善竹 十郎 他

能 「野守 白頭」宝生流 辰巳満次郎 他

② 期日 平成 27 年 8 月 2 日 (入場者 1,004 名)

演目 能 「経正」観世流 西村高夫 他

狂言 「柿山伏」和泉流 三宅 右矩 他

能 「羽衣 彩色之伝」観世流 観世鍔之丞 他

(3) 初春の舞 平成 28 年 1 月 1 日 (220 名)

熱海芸妓組合による新春の舞を、メインロビーにて公演

- (4) 獅子舞 平成 28 年 1 月 2 日・3 日（両日各 3 回公演、計 2,171 名）
横浜・関古式囃子保存会による獅子舞と囃子演奏を、能楽堂にて公演

(5) コンサート

① 能楽堂コンサート

平成 27 年

4 月 26 日 吉田正記念オーケストラ

9 月 21 日 和洋楽器の共演（ピアノ、チェロ、和太鼓、篠笛）

平成 28 年

3 月 6 日 スペシャルコンサート（ピアノ、チェロ、ヴァイオリン、
テノール）

② アート&ミュージック

平成 27 年

5 月 3 日 ATAMI JAZZ PROJECT (ジャズ) / ムア広場

6 月 7 日 I' m s (ファゴットデュオ) / メインロビー

7 月 12 日 リベロバ (チェロ・ピアノ) / メインロビー

8 月 13 日 武内いづみ (ヴァイオリン・ピアノ) / 円形ホール

10 月 11 日 富永弥悠 (ハープ) / メインロビー

10 月 25 日 ATAMI JAZZ PROJECT (ジャズ) / ブールデル前広場

11 月 22 日 セレナーデ (バロック音楽) / メインロビー

12 月 20 日 クリスマスコンサート (ヴァイオリン、ピアノ) / メインロビー

2. 主催講座

(1) 光輪花クラブ 会員数 11,451 名

花の美を楽しみながら情操を養い、生活をより美しくし、豊かな生き方ができることを願いとして、いけばなの講座を実施した。

(2) 花サロン 会員数 242 名

生活の器を工夫して花を楽しむあり方を提案する 6 回型光輪花講習会を実施した。

3. 主催セミナー

(1) 源氏物語文学セミナー（参加者総数 1,320 名）

- ① 開催日 平成 27 年 4 月 21 日、5 月 19 日、6 月 23 日、7 月 21 日、
9 月 22 日、10 月 20 日、11 月 17 日、12 月 15 日
（於：能楽堂）

平成 28 年 1 月 19 日、2 月 16 日、3 月 15 日（於：起雲閣）

- ② 講師 羽深恵美

V. 育成事業

青少年の健全な心と体の育成に資するために、学校・家庭・地域社会が広く一体となった美による情操教育（美育）の一層の普及に努めた。具体的には以下の事業を実施した。

1. 平成 27 年度文化庁補助事業 伝統文化親子教室（日本工芸会共催）

(1) 復興支援として石巻市内の小中学校で、工芸家による授業の実施

平成27年

- 8月27日 石巻市立和渚小学校 放課後子供教室 1～6年生 32名
陶芸家 今泉今右衛門（人間国宝）
- 9月10日 石巻市立和渚小学校 放課後子供教室 1～6年生 32名
金工家 北村眞一、西由三、広沢隆典
- 11月11日 石巻市立和渚小学校 5,6年 45名
漆芸家 増村紀一郎（人間国宝）、宮下智吉
- 12月8日 石巻市立和渚小学校 3,4年 31名
硯作家 雨宮弥太郎

2. スクールプログラム

(1) 紅白梅図屏風（複製）をはじめ美術品を通じた美育の推進

① 小中学校等への出張授業の推進

学校、社会教育施設等において、教育普及授業として館外講座を実施した。

平成27年

- 5月6日 タイ プリンズオブソククラカリン大学スラットタニ校
教職員研修会（大学および附属中学校の教師70名）
- 11月19日 さいたま市教育研究会 図工・美術部会 59名
- 9月25日 横浜市立あざみ野第一小学校6年生（128名）
- 10月28日 湯河原小学校5年生（74名）
- 10月28・29日 鳥取県立米子高等学校1年生（45名）
- 11月26日 枕崎市立枕崎中学校中学2年生（93名）
- 11月26日 薩南工業高等学校高校1年生（34名）
- 11月26日 知覧町立手蓑小学校小学5・6年生（5名）
- 11月27日 知覧町立霜出小学校小学5年・6年（40名）
- 11月27日 知覧町立知覧小学校小学5年・6年（80名）

平成28年

- 1月25日 函南町立函南中学校2年生（240名）
- 2月3日 富士市立鷹岡小学校5年生（114名）
- 2月8日 富士市田子浦中学校3年生4,3組（58名）
- 2月12日 富士市田子浦中学校3年生1,2組（59名）
- 2月12日 富士市田子浦中学校 特別支援学級（6名）
- 2月15日 伊豆の国市立大仁中学校2年生（123名）
- 2月16日 伊豆市立修善寺中学校2年生（129名）
- 2月17日 港区立御田小学校5・6年生（120名）
- 2月25日 越前町立四ヶ浦小学校4・5・6年生（50名）
- 2月25日 港区立御田小学校5・6年生（120名）
- 3月7日 富士市吉原第三中学校3年生（80名）
- 3月10日 藤枝市立広幡中学校3年生（120名）
- 3月16日 水戸市立和田小学校5年生（50名）
- 3月16日 水戸市立赤塚小学校4・5年生（90名）
- 3月16日 水戸市立赤塚中学校1年生（130名）
- 3月16日 水戸市立赤塚中学校2年生（130名）

② 小中学校における図画工作・美術科授業への教材の提供と開発協力
紅白梅図屏風（原寸大）レプリカを作成し、小中学校への貸し出しを行った。

③ 静岡県及び内外における美術教師とのネットワーク構築
図画工作・美術科教師との研究会を実施した。

平成 27 年

8 月 10 日・11 日 日本美術教育学会静岡大会 180 名

11 月 19 日 さいたま市教育研究会 図工・美術部会 59 名

平成 28 年

2 月 15 日 静岡大学大学院教育学部 美術セミナー、光琳屋敷見学 5 名

(2) 美術品の鑑賞手引き

① 小中高生を対象とした展覧会ガイド

平成 27 年

7 月 28 日 静岡市立安東中学校 美術部 37 人 茶の湯・花

8 月 26 日 MOA 熱海保育園 黄金の棗 20 名

10 月 16 日 熱海市立第二小学校 40 名

10 月 30 日 熱海市立多賀小学校 2 年生 34 名

11 月 4 日 熱海市立伊豆山小学校・幼稚園 25 名

11 月 16 日 熱海市立第一小学校 2 年生 20 名

平成 28 年

2 月 6 日 静岡サレジオ中学校 3 年 60 名

2 月 10 日 三島市立中郷小学校 特別支援学級 1~6 年 10 名

② 教職員対象のセミナーなど

平成 28 年 2 月 14 日 三島市教師の会 美術セミナー
東海道五十三次鑑賞 39 名

(3) いけばな・茶の湯の体験コースの実施

① 小中高生を対象としたプログラム

平成 27 年 10 月 30 日 三島市立南中学校

茶の湯、いけばな 生徒 19 名+教師 5 名

② 教職員を対象としたプログラム

平成 27 年 5 月 6 日 静岡美術教師ネットワーク

茶の湯体験、浮世絵版画鑑賞 20 人

平成 28 年 3 月 5 日 静岡美術科教師ネットワーク研修

茶の湯体験、バックヤードツアー 35 名

(4) 中学生の職場体験学習の受入れ

当該年度はなし。

(5) 博物館実習の受入れ

日本女子大学（1 名）、京都精華大学（1 名）

① 期間 平成 27 年 7 月 31 日~8 月 7 日

② 内容 講義、バックヤード見学、取扱い実習、課題学習、薪能の受入れ

3. MOA美術館児童合唱団の充実と体制整備

合唱と美術鑑賞を合わせて楽しむことによって、音楽教育における感性育成を目的とした児童合唱団の活動を行った。

(団員数 8 名、活動日数 44 日 コンサート・出演数 4 回)

4. 花による美育活動の推進—MOA美術文化インストラクターの育成と資格の付与

(1) インストラクター数 5,086名

(2) インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催

(3) インストラクター更新研修(年1回)を各地で実施

(4) 新規インストラクター審査を実施し、新たに36名に資格付与

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

(1) 顧客満足循環型経営への改善

あたま湯ったりアートフェスティバル

① オープニング

平成 27 年 10 月 3 日、熱海駅前でのオープニング式を皮切りに、実行委員長である当館内田館長の挨拶、ジャズの演奏、「あたま湯ったりアートフェスティバル」のチラシ等が入った熱海紹介パンフレットを、熱海市観光建設部長、観光協会専務理事、熱海温泉ホテル旅館協同組合の協力のもと 300 セット配布。JR 東日本熱海駅の駅長も積極的に協力され、「まちづくり」「市民に開かれた美術館」として町との一体感を感じた。

② プレスデー

フェスティバルのメインイベントである「SPACE ECHO」(平成 27 年 11 月 20 日～26 日)開催に当たり、11 月 20 日熱海市観光経済課、熱海市観光協会、マスコミ関係者にプレスデーを行った。

③ プロジェクションマッピング SPACE ECHO

期間 平成 27 年 11 月 20 日～26 日

入場者数 9,715 名

(1) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

① 熱海市内及び近郊施設への「前売り券」取り組みを行った。

② 熱海寮保養所協会との特別提携を行った。

③ 宿泊施設対象の「特別入館チケット」取り組みを行った。

(2) コスト削減と増収に向けた経営改善計画案などの策定

コスト削減に向けた改革に努め、本年の削減目標を達成した。

(4) 寄付金制度(ファンディング)の推進

① 寄付金募集チラシを随時更新し、美術館内に常備した他、国内外の財団支援者へ、また児童作品展表彰式等の財団諸行事の都度、配布し、周知徹底に努め、一定の成果を得た。(寄付金総件数 967 件)

(5) 職員の意識づくり(ワークショップ充実)

- ①平成 29 年 2 月のMOA美術館リニューアルオープンに向けて、職員の意識づくりを行う勉強会を随時実施した。

2. 入館者増加をめざした取り組み

(1) 広報・営業活動の推進

① ホームページの更新

- (a) 展覧会をはじめイベント行事などの情報を、早めにアップするようにした。

② フェイスブックの充実

- (a) 展覧会の見どころ、イベント情報などをリアルタイムでアップ。
- (b) 「いいね」の獲得数をバロメーターに顧客ニーズを掌握、内容充実に努めた。
(3 月末時点「いいね」数 5,167 人)

③ マスコミへの情報提供

- 展覧会、催し物等の情報を積極的に配信、取材に協力をしている。

④ メールマガジン（アートインフォメーション）配信（2,300 名、毎月 2 回）

⑤ ポスター掲示・チラシ配布

- MOA美術館展覧会イベントポスターを年間 6 回作成し、熱海市内 373 か所及び全国 259 か所に掲出依頼。

(2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み

- ① 熱海市役所・熱海市観光団体（観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所）との連携強化を図った。

- ② 各団体への行事・研修・会議の誘致

平成 27 年 11 月 14 日 商工会議所 エクスカーション

熱海市商工会議所の紹介で、東北から中部にかけて、各地の商工会議所会頭等 23 名が来館された。能楽堂でのセミナーを通して、商工会議所と協力して町づくりに取り組んでいることに感銘されていた。

- ③ 熱海市行事受入

平成 27 年

6 月 12 日 熱海市介護予防事業 鎌田實講演会

11 月 21 日～23 日 熱海ブランドA-PLUS フェア

11 月 23 日 ミス熱海梅の女王コンテスト本選会

平成 28 年

1 月 10 日 熱海市成人式

1 月 17 日 熱海ジュニアグランプリ表彰式

1 月 17 日 熱海市人権教育講演会

2 月 16 日 熱海市地震防災講演会

(3) 経産省・観光庁の広域観光圏創出への事業参加

- 地元行政と協同し、地元観光及び産業の振興に努めたが、今期進めた事業において広域観光圏の事業には至らなかった。

3. MOA美術館友の会の拡大

入館者の増加を図り、加えて美術館活動の財政基盤となる「友の会」の拡大を図るため、各地で「友の会茶会」を開催し、友の会会員の増加に努めた。

(1) 東京 友の会茶会

開催日：平成 27 年 4 月 18 日

会 場：グランドプリンスホテル新高輪

参加数：270 名

(2) 愛知 友の会茶会

開催日：平成 27 年 6 月 27 日

会 場：桑山美術館

参加数：265 名

(3) 兵庫 友の会茶会

開催日：平成 27 年 10 月 28 日

会 場：有馬グランドホテル

参加数：200 名

4. 施設の貸与事業

茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行った。

(1) 茶の庭の貸出

① 第 31 回光琳茶会

(a) 開催日：平成 28 年 2 月 22 日・23 日

(b) 席 主

青々庵：濃茶席 平澤寿庵（金沢）

樵 亭：薄茶席 善田好日庵（京都）

一白庵：薄茶席 MOA美術館

(c) 参加者：376 名（内訳：2 月 22 日 212 名、同 23 日 164 名）

(2) 能楽堂の貸出

① 日本舞踊 常磐津三題 古典への誘い

期日：平成 27 年 5 月 31 日

主催：古典への誘い事務局

② 熱海市介護予防事業 鎌田實講演会

期日：平成 27 年 6 月 12 日

主催：熱海市健康づくり課

講師：鎌田實

演題：生きているってすばらしい～命・健康・介護・絆を考える

③ 東京都理容師美容師養成施設教職員研修会

期日：平成 27 年 11 月 20 日

④ ミス熱海梅の女王コンテスト本選会

期日：平成 27 年 11 月 23 日

主催：熱海市観光協会

⑤ 絵ハガキコンテスト授賞式

期日：平成 27 年 12 月 12 日

- 主催：アクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社
- ⑥ 熱海市成人式
 期日：平成28年1月10日
 主催：熱海市・熱海市教育委員会生涯学習課
- ⑦ 熱海ジュニアグランプリ表彰式
 期日：平成28年1月17日
 主催：熱海市青少年健全育成市民会議
- ⑧ 熱海市人権教育講演会
 期日：平成28年1月17日
 主催：熱海市PTA協議会、法務局沼津支部人権啓発活動地域ネットワーク協議会
 講師：水野正人（ミズノ株式会社社長・東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会副理事長・専務理事）
 演題：2020東京大会をレガシーとしてお互いを認め合う社会づくり
- ⑨ 熱海市地震防災講演会
 期日：平成28年2月26日
 主催：熱海市危機管理課
 講師：猪又隆弘（宮城県南三陸町社会福祉協議会事務局長）
 演題：負けてたまるか震災との戦い～南三陸の今～
- ⑩ 早稲田大学金春の会（謡・仕舞発表会）
 期日：平成28年3月1日

5. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

- (1) MOA美術館改修基本計画に基づく基本設計・実施設計の策定と着工
 改修委員会、事務局会、現地視察を伴う打ち合わせ、施工業者説明会およびコンペティション、専門部会（分科会）等の会合を積み上げ、改修基本計画を策定、それに基づき、総合定例会、設計定例会を軸に、基本設計・実施設計を策定し、冒頭に記した通り、平成28年3月11日より着工した。

(2) 美術館の安全確保に向けた対策

① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての改善・改修

MOA美術館

- (a) 美術品保全、来館者の安全の確保及びサービス向上のため、空調・電気系統・水回り・昇降機・通信環境等の更新・修繕および部品・消耗品交換等の対応を行った。
- (b) 茶の庭においても、茶室の空調機器・水回り等を中心に修繕等の対応を行った。
- (c) 害獣出没および害虫発生に対応し、トラップ設置・電線補修の他、熱海市との連携等を行った。

箱根美術館

- (a) 庭園内手摺りの補強工事を行った。
- (b) 案内サインの更新を行った。
- (c) 空調・水回り等を中心に修理・改修等を行った。
- (d) 切符売場休憩所のトイレの改修工事を行い、和式から洋式に変更してお客様の利便性を高めた。

② 美術館の防災、防犯、危機管理体制の設備、強化

MOA美術館

- (a) 各所扉・ゲートの修理を行った。
- (b) 各防犯カメラ、防犯コントローラー、防犯センサーの修繕を行った。
- (c) 総合防災訓練を平成27年10月に実施した。
- (d) 昨年に引き続き、休館日の防犯体制強化の為、休館日における入館受付・警備を警備会社に依頼・実施した。
- (e) 法令に基づき、特定個人情報（マイナンバー）の取り扱い内規を定め、職員研修の実施、収集・利用・保管・廃棄における適正管理運用を開始した。

箱根美術館

- (a) 箱根山噴火に伴うお客様の安全確保と作品保護の計画を策定した。
- (b) 行政や関連機関と連携して防災マニュアルを作成し、防災備品の確保や避難訓練を実施した。
- (c) 作品の安全確保と公開を両立させるため、指定作品の一時避難と、公開作品に対する保護資材や移動手手段の確保等を行った。

(3) 美術品保存に伴う展示環境及び展示方法の改善と実施

① 展示の研究と実施

他館の展示手法の視察研究を行った。

(4) 上記(1)～(3)を踏まえ、MOA美術館改修に向けての調査・研究

- ① 文化庁、東京文化財研究所の指導のもと、展示保存環境を改善するため、展示室ならびに収蔵庫の空調、照明、免震装置、防犯防災システムの設計を行った。

(5) 植樹をはじめ、庭園の改善整備

- ① 昨年度に引き続き、MOA美術館改修工事に合わせた桜山構想の推進として、第二期整備工事を実施、周辺敷地内に八重紅桜11本、オオヤマザクラ35本、ヤマザクラ85本、合計131本を植樹した。

6. 飲食及び物品販売

(1) MOA美術館飲食コーナーの運営

茶の庭内施設「花の茶屋」にて「熱海カフェ」を開店した。

(熱海カフェ：営業日数57日 利用者数4,778名)

(2) ミュージアムショップの運営

①箱根美術館売店

箱根美術館の開館日に営業を行った。

以上

□ 処務報告事項

1. 理事会並びに評議員会開催の件

- 理事会を平成 27 年 4 月 1 日より平成 28 年 3 月 31 日迄に 3 回開催した。
- 評議員会を平成 27 年 4 月 1 日より平成 28 年 3 月 31 日迄に 1 回開催した。

(1) 理事会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 27. 6. 12	議案	平成 26 年度 事業報告及び会計報告承認の件	可決
H. 27. 6. 12	議案	定時評議員会に提出する理事候補者名簿の件	可決
H. 27. 6. 12	議案	定時評議員会開催の件	可決
H. 27. 6. 26	議案	代表理事選定の件	可決
H. 27. 6. 26	議案	業務執行理事選定の件	可決
H. 28. 3. 31	議案	平成 28 年度 事業計画書及び収支予算書承認の件	可決
H. 28. 3. 31	議案	平成 27 年度の事業報告	可決

(2) 評議員会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 27. 6. 26	議案	議長及び議事録署名人選出の件	可決
H. 27. 6. 26	議案	平成 26 年度 事業報告及び決算報告承認の件	可決
H. 27. 6. 26	議案	理事の選任の件	可決

2. 職員異動の件

- (1) 採用職員 4 名
- (2) 退職職員 5 名
- (3) 職員数

	職員	男・男	女・女
計	44	24	20

以上